

第6節 6日目：8月3日（月）：米子～松江 晴れ

2020年8月3日（月）晴れ、山陰本線も旅の第6弾は、米子から松江までの営業キロ28.9kmに挑戦する。昨日と比べ、本日は始点・終点ともに列車で移動しない”鉄道つたい歩き”となる。また、昨日に比べ、営業キロが2.8kmだけ短い区間であったので精神的に余裕をもって臨むことができた。ホテルで朝食を済ませ、7.6km先の安来駅を目指すことにする。各駅舎の到着時刻は次の通り。



※東横イン、米子駅

米子（7:27）～安来（10:05）～荒島（12:10）～揖屋（いや、13:53）～東松江（15:30）
～松江（17:20）

①米子駅前の東横インを出て、米子駅（7時27分）に立ち寄ってから、安来駅を目指すことにする。7時41分、JR線を跨いだ先に大きな交差点があり、直進して国道9号線に進むか、右折してJR線下を潜り鉄道に沿った幹線道路を進むか迷う。交差点で地元の人にお伺いし、その迷いが解消され、後者の道筋となる。近道で分かり易い道筋の歩きとなる。7時55分、米子西高校前を通過。沢山の高校生の通学風景に出くわす。8時18分、国道9号線に合流する。8時20分、松江20km、安来7km地点前を通過。鳥取県と島根県の県境の看板は目にしなかったが、この境界が県境であろう。8時33分、道の駅あらエッセ前を通過。9時34分、安来市黒井田町を通過。安来節が有名な安来駅には10時5分到着する。駅舎内にある観光センターに立ち寄るなどして10分位小休止する。



※JR線を跨ぐ、鉄道の左側を歩く



※安来駅



※安来駅

②10時51分、安来市飯島町で浜田153km、出雲51km、松江21km地点に到達する。10時55分、万歩計で152歩ある安来新大橋を渡る。11時20分、266歩ある赤江大橋（飯梨川）を渡る。暑くなりかけたので傘をさすが、暫く行った先で傘をしまう。12時3分、荒島踏切を横切って、鉄道の左側に出て、鉄道に沿って500m位引き返す。15分位、

ロスタイムが生じる。荒島駅には12時10分到着する。下り列車がやって来る。線路はいつの間にか単線となっていた。



※荒島踏切、荒島駅



※荒島駅、松江市へ

③12時37分、古代の出雲王陵の丘の看板前を通過。12時37分、松江まで16km地点を通過。12時41分、本日初めて西荒島という地名で中海を見る。12時46分、安来市から松江市となる。13時11分、上り特急と対面する。13時23分、意東小学校の看板前を通過する。13時43分、揖夜神社で本日の安全を祈願する。13時53分、揖屋駅に到着する。駅舎内にある喫茶店（女寅）で小休止する。



※国道9号線から脇道へ、揖夜神社



※揖屋駅

④揖屋駅に面した出雲街道を歩く。14時28分、揖屋踏切を横切り鉄道の左側を歩く。14時41分、向原踏切を横切り鉄道の右側となる。14時45分、みつき出雲郷保育園前を通過。14時58分、宍道湖東部浄化センター前を通過。15時、万歩計で128歩ある意宇橋を渡る。東松江駅が左手道路先に見えるが、企業があり線路を越える踏切が見当たらず。通行人の姿が見えなかったため、コンビニに駆け込んで、東松江駅への道筋をお伺いする。「1km位戻るか、前進すれば、踏切があります。踏切を横切って、線路に沿って歩いた先に東松江駅があります。所要時間30分位は要するでしょう。」との説明を受ける。このコンビニで運よくそちら方面に向かうという方(船木さん)にお会いし、親切にも東松江駅まで送って頂く。今年3度目の心温まる行為を受ける。感謝また感謝。馬潟踏切を横切りくねくねと狭い道路を進んだ先に東松江駅(15時30分)到着。駅舎を背景に記念写真も撮って頂く。今回のシリーズ駅舎踏破で、東松江駅が一番易しそうで一番難しい駅となった。船木さんから、「鉄道に沿って真っ直ぐ行った先に松江駅があります」と教えて頂く。御礼を言って別れる。



※揖屋踏切、向原踏切、東松江駅への路



※意宇橋、JR 貨物、東松江界限



※東松江駅



※馬潟踏切、由貴神社、鳥居がある小島

⑤松江駅への道筋は、概ね鉄道に沿って2本走っていた。私は、15時43分馬潟踏切後、船木さんの指示通り鉄道の右側をキープして歩く。風光明媚な海岸線を淡々と歩く。途中、小島があり鳥居が見える。15時51分、由貴神社前を通過。16時35分、山陰道下を潜る。松江駅には17時20分到着。17時40分、東横インでチェックインする。汗を流したあと、ホテルで紹介して頂いた居酒屋”ここに”で本日の疲れを癒す。



※山陰道、松江駅への路、松江駅構内



※松江駅



※東横イン、“ここに”で祝杯！！

第7節 7日目：8月4日（火）：松江～出雲市 晴れ

2020年8月4日（火）晴れ、山陰本線の旅の第7弾は、松江駅から出雲市駅までの営業キロ32.7kmに挑戦する。因みに、32.7kmは今回のシリーズで最長区間となった。ホテルで朝食を済ませ、ホテルから目と鼻の先にある松江駅（7時20分）に立ち寄ってから乃木駅を目指すことにする。本日は、暑さ対策のため、傘をさして臨む。各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。



※東横イン、松江駅、フコク生命看板

松江（7:20）～乃木（8:15）～玉造温泉（9:30）～来待（11:13）～宍道（12:26）～莊原（14:06）～直江（15:57）～出雲市（17:43）

①松江駅前でフコク生命看板を確認。7時38分、NHK松江放送局前を通過。8時5分、山居川を越える。8時11分、乃木踏切を横切って鉄道の左側に出て、少し戻った先に乃木駅があった。駅前では大勢の高校生の姿があった。



※NHK 松江放送局、山居川、乃木踏切



※乃木駅

②乃木駅から玉造温泉駅への道筋は、国道9号線に合流せず、県道263号線（浜乃木湯町線）を主として歩く。それ故、少し遠回りをする。8時28分、万歩計で63歩ある忌部川（はんばら橋）を渡る。途中、山間の中に入り、不安となり、地元の方に玉造温泉駅への道筋を聞く場面もある。9時11分、道路下にある80mある仙石トンネルを通過する。このトンネルで山間を脱出する。9時18分、湯町踏切を横切り、鉄道の右側となる。この踏切近郊で鉄道写真マニアの姿があった。鉄道に沿って暫く歩いた先に玉造温泉駅があった。



※玉造温泉駅への路、仙石トンネル



※湯町踏切、玉造温泉駅

③9時41分、出雲26kmと記した道路標識前を通過。9時45分、玉造温泉西入口で9号線に合流する。この近郊で京都から337.1kmの標識があった。10時15分、ふれあいパーク前を通過。11時13分、来待(きまち)駅に到着。



※玉造温泉看板、来待駅への路



※来待駅



※来待駅

④11時28分、万歩計で63歩ある来待川（来待橋）を渡る。11時40分、西来待で京都から345kmの標識を通過。12時7分、宍道中町で1両編成の下り列車が通過して行く。12時21分、野原踏切前を通過。12時26分、宍道駅に到着する。駅前の食堂（こわた）で冷やし中華を頂く。この食堂で30分位寛ぐ。お蔭様で火照った体を癒してくれた。この宍道駅から備後落合駅まで営業キロ81.9kmある木次（きつく）線が接続していた。この鉄道沿線には、「砂の器」で一躍有名になった”亀嵩駅”があった。いつかこの駅に立ち寄りたものだ。



※京都から345km地点、宍道駅への路



宍道駅



※木次線（亀嵩駅あり）



※宍道駅構内、こわた、宍道駅界限

⑤鉄道の沿って淡々と歩いた先に莊原（しょうばら）駅があった。途中、水田地帯が広がっていた。



※水田地帯、京都から 350 km地点、莊原駅

⑥直江駅への道筋は、国道9号線には合流せず、くねくねした農道を繋なぎながら歩く。14時20分、16歩ある長松橋（七日市川）を渡る。14時36分、荘原小学校前を通過。直江駅には15時57分到着。



※荘原小学校、農道を歩く



※直江駅、斐伊川

⑦16時10分、25歩ある太才元橋（五右衛門川）を渡る。16時12分、国道9号線に合流する。16時19分、西野小学校前を通過。16時41分、万歩計で618歩ある神立橋（斐伊川）を渡る。17時10分、一畑電車の線路を横切る。右手には大津町駅があった。17時14分、阿須和神社で遅まきながら本日の安全を祈願する。17時31分、大念寺古墳前を通過。その先に高架した線路があり、その線路に沿って歩く。一畑電鉄の出雲市駅に隣接したJR出雲市駅には17時43分到着する。何とも言えない駅舎の風貌に感動また感動。駅前の東横インに18時1分チェックインする。到着するや否や、フコク生命時代の友人（飯塚 求氏）に明日の観光の関し電話する。ホテルで汗を流した後、ホテルで紹介を受けた居酒屋（食楽酒楽）に出向き、本日の疲れを癒す。



※神立橋（斐伊川）、一畑電車の踏切、阿須和神社



※クロマツ、出雲市駅への道筋、大念寺



※出雲市駅



※一畑電鉄の出雲市駅、出雲市駅構内、食楽酒楽



※食楽酒楽で飲み比べを楽しむ（旭日、出雲富士、天穂）